



한청통신

韓 青 通 信

2011年1月号

今号のラインナップ：中央委員長新年辞 / 韓青結成50周年行事報告 / 参加者からの声 / 活動紹介 / 情勢 NEWS / 今後の予定 / 編集後記

韓青2011年の誓い (文世賢中央委員長)

セヘ チュッカハムニダ!

希望に満ちた新年を迎え、在日韓国青年同盟を代表して、新年の決意を表明します。

昨年私たちは、組織結成50周年という大きな歴史の節目に立ちました。

「韓青結成50周年記念式」を年末に開催するにあたり、多くの先輩方、日本の友人のみなさまから、さまざまなご協力、ご支援を頂いたことに、改めて感謝申し上げます。

私たちにとって昨年は、今の韓青への愛情と、これからの韓青への期待を、一身に受けた一年でありました。そして、半世紀に及ぶ韓青の誇らしい愛国運動を、現役の青年たちが探求し続けた一年でもありました。

この行事を通じて私たちは、「韓青の結成自体が自主・民主・統一運動の烽火であり、その存在自体が『全体民族の解放なくしては在日同胞青年の真の解放はありえない』という真理を証明する炎である」ことを強く自負し、「民族的に生きるための闘い」と「民族の自主権を実現する闘い」にまい進していく決意を強く持つことができました。

そういった韓青の核心的価値に基づいて、より具体的な実践綱領として、「韓青50年宣言」を策定し、記念式で発表させてもらいました。

その要綱は、以下の四点であります。

- 一. 韓青は、自主・民主・統一の大道を行く。
- 一. 韓青は、朝鮮半島と日本を正しくつなぐ。
- 一. 韓青は、在日同胞とともに歩む。
- 一. 韓青は、平和のために世界の青年と連なる。

今、私たちの目の前には、6・15共同宣言の固守・履行しようとする勢力と、白紙化しようとする勢力とが激しい攻防戦を繰り広げられています。

平和があつてこそ民族の未来もあり、統一と共同の繁栄もあり、在日同胞青年の真実の生もあります。私たちは、6・15共同宣言の履行に逆行して軍事的緊張と同族間の対決をあおるどのような行為も、断固として阻止していかなければなりません。

今、私たちに提起された課題は、韓国に6・15共同宣言を支持、履行する自主的民主政府を創出することにあります。

6・15共同宣言の実践を通じて祖国の自主的平和統一を成し遂げる闘いに、本格的に取り組むために、私たちは「50周年行事」の直前に「25次定期大会」を開催して、新たな政治方針と人事体制を確立しました。

2012年に行なわれる韓国の総選挙(4月)と大統領選挙(12月)には、在日同胞も投票行動ができるようになりました。

25期執行部は何よりも、この政治決戦に勝利することが求められています。

「歴史は運動する側のものであり、覚醒した者たちのみが解放と勝利の夜明けを迎えられる」という言葉があります。

私たちは、多くの同胞青年とともに、自主・民主・統一の道をひた走ること、昨年頂いた愛情と期待に恩返しすることを固く決意しながら、新年のあいさつと代えさせていただきます。



韓青結成五十周年行事報告



多くの方に参席いただきました

韓青結成50周年を迎え、2010年12月5日、東京都内のJALシティ田町で結成50周年記念式を開催しました。当日は、全国各地から韓青の現役盟員はもちろんのこと、OB・OG、韓統連、民主女性会、学生協のメンバーのほか、日本の青年団体や市民団体、労組関係者など友人の方々、そして韓国の6・15南側委員会青年学生本部の金虎執行委員長をはじめ欧州や米国の同胞など多くの方が参加し、「闘争、変革、発展の50年」の歴史を確認し、祝賀しました。

第一部の記念式典では、韓統連の孫亨根議長の力強い祝辞、在日本朝鮮青年同盟の金チャドル委員長の連帯辞、国内の韓国青年連帯から送られた祝賀ビデオメッセージの紹介、韓青初代委員長である郭東儀・韓統連最高顧問のあいさつをいただきました。その後、文世賢委員長が《韓青結成50周年記念・基調報告》を行い、韓青結成を「自主・民主・統一の烽火」であり50年間の愛国運動は「4月革命精神の具現化」であったと評価し、6・15共同宣言の旗の下に祖国統一に向けて愛国の道を力強く前進していくと明らかにしました。これを受けて各地方の盟員が決意表明を行い、最後に①自主・民主・統一の大道を行く②朝鮮半島と日本を正しくつなぐ③在日同胞とともに歩む④平和のために世界の青年と連なる—という四項目からなる《韓青50年宣言》を発表し、全参加者の万雷の拍手で確認しました。



「韓青50年宣言」を高らかに読み上げる次世代を担う若き獅子たち



文化公演で合唱を披露する盟員たち

続いて開催された第二部の祝賀宴は、韓青中部地協のプンムルで始まり、歴代中央委員長の紹介に続いて、慎忠義・韓青結成50周年を祝う会会長より祝杯あいさつをいただきました。ここでは社民党の福島みずほ党首をはじめ各界各層からの祝電が紹介され、参席いただいた多くの先輩、先生方から祝辞をいただきました。また、民主女性会による詩の朗読や韓青OBのあいさつをいただいたほか、韓青盟員による50年の愛国運動を振り返る文化公演を披露しました。会の最後には、文委員長が韓青の愛国運動の継続実践を力強く宣誓した後、「四月の若き獅子」を参加者全員で合唱し、決意を共有しました。

また同日、50周年行事に先立って第25回中央大会を開催し、24期執行部の活動総括を行い、「2012年の政治決戦に勝利して、平和と和解の6・15時代を復活させる」など4項目の25期活動方針を採択しました。役員改選では新委員長に文世賢委員長を再選し、副委員長には中央本部の朴明哲文教部長、金承民組織部長、李俊一組織次長、三重県本部の白康喜委員長をそれぞれ選出しました。



新たに選出された25期執行部



「韓青結成50周年記念事業」に参加して・・・

愛知県本部 ワン・ソハ

韓青と出会って1年半という短い期間で結成50周年という節目の年を迎えることができたのも何かの縁、巡りあわせなのか、と思う。自分がこんなに変わったなんて。

韓青と出会う前は在日であることが嫌で嫌でたまらなく、在日であるがために自分の人生はすでに終わっている、なんてことを常に思う人間だったからです。

まず、自分の名前が気に入らなかった、そして普段の生活スタイルが友達と違うこと、進学、就職、交際、結婚、自分は現世では目標も夢もない、来世にかけよう、などと思ったりもしました。

今思うと解決への道を見つけようとする努力を何一つしようとしていなかっただけなのだと思います。そんな自分が韓青で唯一無二の仲間との出会いを機に、初めて夢への実現に向け、充実した日々を送ることができていることに今では感謝という言葉では言い表せないほどの気持ちを持っています。

そして先月の50周年記念式典に参加でき、とてもよかったと思う反面、50年も続いてしまった、という話を聞いて改めて複雑な気持ちになります。

11月の延坪島砲撃の件を機に自分の周りでも何かと話題になる朝鮮半島情勢。自分の友達にもよく質問されたり、朝鮮半島がなぜ分断されたかも知らない人たちに自分なりにしっかりと伝えているつもりでも、マスコミの影響、翻弄により植えつけられたものを払拭するのは中々難しく、歯がゆく感じることもあります。

歴史セミナーで勉強していても、今の私にはまだ朝鮮半島の分断についての自分の見解を述べたり上手くまとめることができません。これからもっと知識をつけていかなければならないと感じます。ただ、単純に祖国が分断されたものを元に戻したい。これだけは心からはっきり言えます。

故郷へ帰りたいと言っていた祖父は亡くなってしまいました。

分断前を知る世代の減少に時間がないのだと感じます。

来年、再来年は何か大きく変わるだろうか・・・

自分が変わったように、情勢も真の平和に向かっていくことを願います。

残りの青年期、できることを精いっぱいやろうと思います。

炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛揚鳥～

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

(各階40名様まで)

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061



「韓青50周年記念事業」 に参加して

東京本部 キム・サエ

韓青が50周年を迎えた。口で言うのは簡単だが、どれだけすごいことかは正直あまり実感が無い。ただ、私自身の存在は、韓青でアボジとオモニが合わなければ、存在し得なかったことはたしかである。

去年の秋、私は支常委になった。私は支常委になることをずっと避け続けた。私にとって韓青はあつて当たり前すぎるものだったし、周囲の誰もが、私が韓青に行くことが当たり前で、幹部になるのが当たり前というような空気、敷かれたレールの上を歩かされていくような感覚がものすごく嫌だった私の、それは精一杯の抵抗でもあった。そんな私が、支常委を決意したのは別に特にこれと言った理由があった訳ではない。心の底ではずっと、韓青を肯定し続けていたし、肯定せざるを得なかった。しかし、なんの理由もないまま肯定することに私は疑問を持っていた。“正しい事は正しい”で、いいのか？私は自分でちゃんと考えたかった。自分で判断したかった。

私は自分自身で“韓青を選び直し”たかったんだと思う。支常委になって、私は自分が少しずつ変わった気がする。特に、日本の人に対しての抱く感情が変わった。以前であれば初対面の人に“金さんはいつ日本に来たんですか？”と言われても、“またか”と思うだけだったが、最近では心の底から“なんで知らないんだろう”と、最近、日本の友人達に在日社会について話したことがあった。本当に何も知らなかったけど、“全然知らなかった”と素直に話を聞いてくれた。別に日本人がみな、朝鮮と日本の過去の過去を知りたくない訳ではないし、知ろうとしてないわけではない。意図的に知らされてないんだと、感じた。なんでそんなことをするんだろう、お互いのことをもっと知ればもっといい関係になれるのに。

在日が3世、4世と世代が交代していく中で、同化ではなく、朝鮮半島にルーツを持つ人間として日本の社会の中で生きていくことは、日本の方がもっと私たちのことを知ってくれるだけでいいのに、しかも、話せば素直に聞いてくれる人の方が本当は多いはずなのに、誰がそれを邪魔してるんだろう。それは日本社会だって、言われるかもしれない。じゃあ、日本社会の誰が？何が？なんで邪魔するの？支常委になって、多くの物事に疑問を持つようになった。疑問を持ったら、それが解決しないとすっきりしない。

すっきりしないと、イライラする。もどかしい気持ちでいっぱいになる。見えない敵に頭を押さえつけられて、手足をジタバタ動かしてもがいているような気分になる。悔しい。私の今の気持ちはただそれだけだ。朝鮮人になりきれない悔しさ。どんなに理解し合おうと思っても、超えられない日本人の友人との間にある厚い壁の悔しさ。同じ同胞なのに、目先のことに気を取られて結局仲違いしてしまう悔しさ。いくつもの悔しさが積み重なって、身動きが取れなくなっている在日が、きっとたくさんいるのではないだろうか。そんな悔しい思い、“恨(ハン)”を晴らすため、さらにこの結成50周年を通して私はいままで以上に韓青運動を邁進していきたい。

韓国語教室

「ムグンファ」



見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵(キム・イヘ)
080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハンゲルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>



「韓青50周年記念事業」 に参加して

京都府本部 キム・イル

韓青結成50周年記念事業に参加して率直に思った感想は、私たち現役の青年たちは運動などさまざまな所でまだまだ到らないところがとても多いと感じました。この思いは韓青初代委員長である郭東儀先生や多くの先輩方の話を聞いていて、結成当時のことや、さまざまな困難の中でも力強く闘っていた話など、私の心にひびき、自分ももっと民族のためにやっていかなければならないと強く感じました。

韓青結成50周年を現役で向かえ参加したことによって、韓青の闘争の歴史を肌で感じる事ができました。また私はこの50周年をさらに輝かしいものにするためには私たち現役が歴史を継承し、さらに発展させていくことが大切だと思っています。いまの自分からさらに成長できるように日々の運動に邁進していき、自主・民主・統一運動を前進させていきたいです。

そして困難な状況にある韓青京都府本部をさらに発展させていくためにも、多くの先輩方の言葉を肝に銘じ、韓青京都府本部の発展をみずから成し遂げていきたいと思っています。

そのためにも今まで以上、学習に力を入れて積極的に学んでいき、今回提示された「韓青50年宣言」の前文にあるとおり、「愛国と売国を分かち境界線は、6・15共同宣言によってひかれている。愛国とは6・15の固守履行であり、売国とは6・15に反対する民族対決策動だ。全民族の真の解放である祖国の自主統一という民族的課題は、統一の里程標である6・15共同宣言実践という課題に集約されている。」このように私は6・15共同宣言の固守履行のためにこの「韓青50年宣言」をさらに自分の心に深め実践していくことを決意しました。

その過程の中で、さらに多くの同胞青年に呼びかけ青年が血筋を隠さず、自分らしくよりよく生きる民族的空間を作っていきたいと思います。自分の言葉で韓青を語れるような偉大な先輩方のように熱く語れるようにがんばっていききたいです。

韓青京都府本部OB

李 勝 熙

韓青愛知県本部OB

韓青25期執行部監査

崔 保

活動紹介

東京本部クリスマスパーティ開催



12月25日、東京本部はクリスマスパーティを開催しました。オープニングでは、今年日本で大ブレイクしたK-POPのものまねで会場は一気に盛りあがりました。その後の乾杯のあいさつでは、この1年間をふりかえりながら、運動の成果を確認し、またゲームや映像、プレゼント交換などを交えながら楽しく交流し親睦をふかめました。最後に参加した青年から1年間の感想をもらうなど、熱気あふれるクリスマスパーティとなりました。最後のあいさつでは、「今年の成果を来年の成人祝賀会・冬期講習会につなげ最大動員を勝ち取っていきましょう」としめくくられました。

近畿地協で送年会開催

韓青結50周年事業の感動と興奮もさめやらぬうちに、あわただしく年末を迎えましたが、韓青近畿大阪・兵庫では、それぞれ盛大に送年会を開催しました。

大阪本部では12月23日(水)、大阪本部近くの「やきとり 有機野菜 ながしろ」で開催しました。落ち着いた雰囲気の中おいしい焼き鳥や有機野菜の料理を楽しめる店で、普段の支部メンバーとは違った顔ぶれで、楽しく交流していくことができました。

メインイベントは、クリスマス時期に合わせたプレゼント交換。もらってうれしいプレゼントが多く、みんなの思いやりが感じられるひと時でした。盛り上がった宴は延長戦へ。あわや終電を逃してしまう・・・!!!といった時間まで楽しく交流しました。

兵庫県本部では12月29日(水)に本部事務所で送年会を開催。本部がギューギューで入りきらないほどの盛況で、みんなで鍋をつつきました。

こちらのメインは「支部での出しもの」宴会好きの兵庫メンバーが、それぞれ西神戸支部、尼崎支部でこの日のために一芸を披露しました。西神戸支部メンバーはドラマ「冬のソナタ」のアテレコ。映像の動きに合わせてウリマルのセリフを話すという、かなり高度な芸に挑戦しました。もちろんコスプレつき。一方で尼崎支部の出し物は律動。国内の結構ハードな闘争歌をにあわせて踊り狂いました。あまりの盛り上がり、近所から苦情がないかと、委員長が内心ビビっていたのはここだけの話(笑)



大阪、兵庫いずれも、2011年の冬期講習会への参加を力強くアピール。早速申し込み用紙を書いてもらうパワー勧誘を決行しました(笑)

2010年は、文字通り山あり、谷ありだった近畿地協。2010年の経験を生かし、2011年の飛躍を誓い合いながら、送年会は幕を閉じました。

また全国各地域においても送年会が開かれ、1年間の成果を語りあいました。



情勢 NEWS

< 6者協議再開に向けて

- 活発になる関連国の動き >

昨年(2010年)の11月23日、西海で南北砲撃戦が起こり、朝鮮半島の緊張は最高潮に達しました。こうした事態が発生したことは極めて遺憾であります。またこの砲撃戦によって、朝鮮半島がいまだに戦争中であること、米国が勝手に設定したNLL(北方限界線)によって西海が常に「緊張状態」にあること、そして世界最大規模の韓米軍事演習が緊張をあい、戦争につながる事が明らかになりました。

西海砲撃戦以降、中国の戴秉国・国務委員が11月27日に電撃訪韓し、軍事演習の自制や対話による緊張緩和を訴え、翌28日にも中国が6者首席代表の緊急会合を提案、ロシアもメドベージェフ大統領が6者協議再開に言及するなど、両国は対話路線を明らかにしています。一方で11月28日には韓米軍事演習を、12月には砲撃戦があった延坪島で韓国軍が再び射撃訓練をするなど、韓国は米国、日本とともに対北敵視政策と軍事協力関係を強化する動きを見せています。

こうしたなか年末年始にかけて、対話による解決に向けて関連国の動きが活発化しました。12月16日にはアメリカのリチャードソン・ニューメキシコ州知事が北朝鮮の招待を受ける形で訪北し、金桂寛・第1外務次官らと会談、同行したCNN報道によればIAEA職員による核施設の査察などが合意されたとされ、活発な論議が行われたと思われます。

年始には北朝鮮の対話攻勢が続きました。1月1日に発表される恒例の共同社説に続き、5日の「政府・政党・団体の連合声明」でも、韓国当局に対し対話再開を提案しました。8日には祖国平和統一委員会が赤十字会談など具体的な提案をしました。並行するようにアメリカのボズワース北朝鮮特別代表が東アジア歴訪に向かい1月5日には韓国を訪問、



野党5党と社会市民団体・宗教団体が非常時局会議を開催した韓国側6者協議首席代表と会談し、「6者協議再開は南北対話が出発点」という認識を確認しました。

また社会市民団体や野党からも南北対話で緊張緩和を求める声が高まっています。11月30日には民主党・民主労働党・国民参与党など野党5党と、韓国進歩連帯・6・15南側委員会など社会市民団体、宗教団体が共同で「非常時局会議」を開催して南北対話を求める共同声明を採択、年初には民主党のソン・ハクキュ代表や民主労働党のイ・ジョンヒ代表がそれぞれ6・15、10・4宣言に基づく南北関係改善を訴え、6・15海外側委員会も8日に南北対話再開を求める声明を発表しています。

昨年の西海砲撃戦は、西海が「朝鮮半島の火薬庫」であることを改めて示しました。しかしこのことは過去の海上銃撃戦でも明らかになっており、そのため2007年に発表された10・4宣言では「西海平和協力特別地帯」の設置が合意されています。李明博政権が6・15、10・4宣言を支持し履行していたならば、こうした事態が起きなかった可能性が高かったでしょう。そして関連国の動きからして6者協議の再開や東北アジアの平和と安定は、まさに“南北対話”にかかっているといえます。

李明博政権は国際・国内世論に耳を傾け、早期に無条件で当局間対話に臨むことが求められています。

PICK UP!

◎ 今年もやってくる～！ スノーフェスティバル2011



集まれ、同胞青年

0120-734-101

chuo@hanchung.org

안녕하세요

スノーフェスティバル
第47回韓青全国冬期講習会

日程：2011年 3月4日(金)～6日(日)
※会場は3日(木)の夜

場所：長野県 志賀高原 志賀ハイランドホテル

費用：一般/29,000円 高校生/23,000円
[交通費・食費・イベント代込み]
※盟員登録者は上記価格より1,000円引き

韓青公式サイト
リニューアル！
http://hanchung.org

韓青のピックアップイベント／『第47回韓青全国冬期講習会』 - スノーフェスティバル2011を今年も開催します！

全国各地から同胞の仲間たちが集まりスキー・スノーボードにゲームと民族文化を満喫！！

同世代の仲間たちと「在日である自分」を見つめあい、語り合えるのが韓青のスノーフェスティバルです。

ひとりやはじめての参加者でも大丈夫！！みんな年も近いのですぐに仲良くなれるよ～。

だから安心して参加してみてくださいね。

みなさんの参加を心よりお待ちしております！！

★SFのメインイベント韓青文化マダン★

2日目の夜、韓青文化マダンでは民族文化の発表が目白押しです。

民族楽器やチュム（舞踊）ノレ（歌）など各地方で練習してきた成果

を発表！！韓国人でよかった！そう思える最高の空間です。みなさんも是非参加してみませんか？すでに各地方で練習をおこなっています。



◎参加ご希望の方は大至急連絡を！ 興味ある方も大至急連絡を！ とにかく同胞青年は連絡をくださいね！

日程：3月4日（金）～3月6日（日）※地域によって出発時間は異なりますが木曜日の深夜出発

場所：長野県 志賀高原 志賀ハイランドホテル

参加費：一般29,000円 高校生23,000円（盟員は1,000円引き）

お問い合わせの番号は、**0120-734-101**

編・集・後・記



セヘ ポン マーニ パドゥセヨ。2011年最初の韓青通信が出来上がりました。今年も去年以上のものを作って、より多くの方々に読んでいただけるように日々努力をしていきます。みな様の応援よろしく申し上げます。（徐）